

黒河道を歩いた こう ごん じょう こう 光厳上皇と 豊臣秀吉

令和7年
11/29 土

世界遺産に登録された黒河道の歴史は詳細が分からず、謎の高野山参詣道とされていました。ところが、実は古くから知られた登山道で、南北朝時代の光厳上皇や豊臣秀吉も黒河道を辿っています。本講演では、その具体的な背景や黒河道の特色などについて触れられます。

講師

木下 浩良 氏

1960年福岡県生まれ。高野山大学文学部人文学科国史学専攻卒業。高野山大学元総合学術機構課長。現在、高野山大学密教文化研究所受託研究員、高野山大学文学部密教学科・大学院非常勤講師、日本山岳修験学会評議員、神戸学院大学非常勤講師、清淨心院高野山文化歴史研究所所長、高野七口再生保存会顧問、九度山町文化財保護審議会委員、和歌山県立伊都中央高校非常勤講師。専門は仏教考古学・高野山史。



講演会

時 間 10:00 ~ 11:30 (9:30 開場)

会 場 学文路地区公民館（橋本市清水343-3）

参加費 無料

募集人数 100名（先着順）

トレッキング

※雨天中止

時 間 13:00 ~ 16:00

集合・解散 学文路地区公民館前（橋本市清水343-3）

参加費 500円（資料、保険費、記念品等）

募集人数 50名（先着順）

※同日開催の黒河道に関する講演に参加した方のみ申込できます。

申込締切

11/13（木）



申込フォーム

主催 世界遺産・日本遺産トレッキング実行委員会

お問い合わせ先：世界遺産・日本遺産トレッキング実行委員会事務局
(橋本市経済推進部シティプロモーション課 TEL: 0736-33-6106)